



ファームウェアバージョン :	R2.20.B021	
ハードウェアバージョン :	DES-3810-28	A1
	DES-3810-52	
発行日 :	2014/10/7	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	4
追加機能 :	7
MIB および D-View モジュールの変更点 :	7
修正した問題点 :	7
既知の問題 :	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R2.20.B021 PROM：2.00.004	2014/10/7	DES-3810-28 DES-3810-52	A1

注意事項：

DES-3810 シリーズでは、エンハンスド(EI)バージョンとスタンダード(SI)バージョンは共通イメージとなっておりますが、各イメージでは使用できる機能が異なっておりますのでご注意ください。機能に関しては、最新のデータシート及びカタログを参照ください。

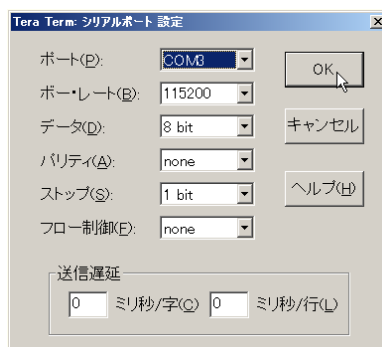
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。PROM コードのアップグレードについては、R2.15.004 のリリースノートをご参照ください。

CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RJ-45 ポート（コンソールポート）に付属のコンソールケーブルを使用して PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートをコンソールケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていませんので、何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} src_file <path_filename 64> dest_file <pathname 64>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image <path_filename 64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
dir <pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DES-3810-28:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DES3810_Run_2_20_B021.had dest_file
DES3810_Run_2_20_B021.had

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DES3810_Run_2_20_B021.had dest_file
DES3810_Run_2_20_B021.had

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off!

Please wait, programming flash..... Done.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DES-3810-28:admin#config firmware image DES3810_Run_2_20_B021.had boot_up

Command: config firmware image DES3810_Run_2_20_B021.had boot_up

Success.
```

3.ダウンロードし、ブートアップ時に起動するファイルとして設定が正常にされているか確認します。

```
DES-3810-28:admin#dir

Command: dir

Directory of c:/:

Idx Info      Attr Size      Update Time      Name
-----
1 RUN(*) -rw- 6043856 2000/02/12 01:13:38 DES3810_Run_2_20_B021.had
2 RUN(b) -rw- 6034648 2011/11/26 12:13:26 DES3810R220B011
3 CFG(*) -rw- 32138 2000/01/04 04:27:38 config.cfg
4          d---      2000/02/12 01:09:26 system

30560 KB total (18637 KB free)

(*) -with boot up info      (b) -with backup info
```

4.ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

```
DES-3810-28:admin#reboot

Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

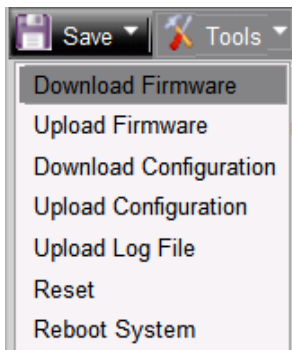
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に、“show switch”コマンドを実行して、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UI を使用するアップグレード

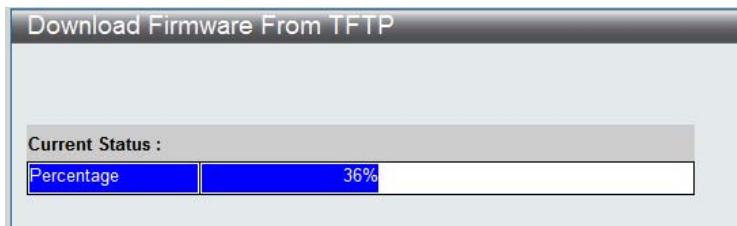
1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行ってください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていませんので「空白」でログインを行ってください。
5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



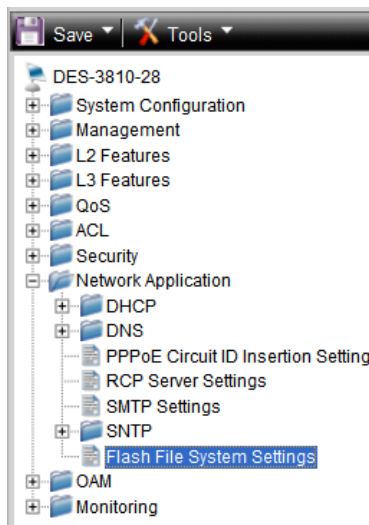
6. 「Download Firmware」画面において、必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration page. At the top, there's a title bar 'Download Firmware'. Below it, there are four radio button options: 'Download Firmware From TFTP' (selected), 'Download Firmware From FTP', 'Download Firmware From HTTP', and 'Download Firmware From RCP'. Below these options, there are input fields for 'TFTP Server IP', 'Source File', and 'Destination File'. To the right of the 'TFTP Server IP' field, there are two radio button options: 'IPv4' (selected) and 'IPv6'. At the bottom right, there is a 'Download' button.

- 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、ダウンロードの進捗状況が表示されます。「100%」になるまでそのままお待ちください。



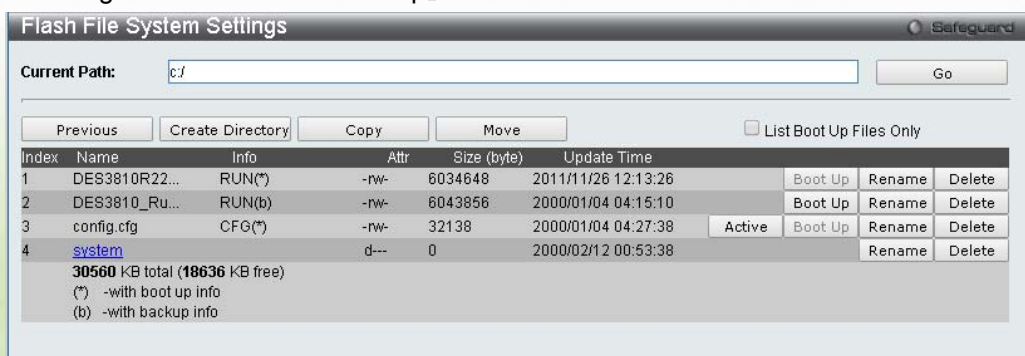
- 次のスイッチのリポート時にダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に起動するファイルとして設定を行います。左のメニューの、**Network Application > Flash File System Settings** の順にクリックします。



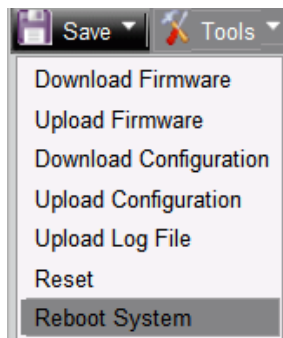
- Flash File System Settings の下記画面が表示された後、Root の項目に表示されているルート名をクリックしてください。



- 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID を選択し、「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。



11. ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success.」とメッセージが表示されます。
OK ボタンをクリック後、画面が更新され、ブートアップファイルとして設定したファームウェアに*印が表示されます。
12. スイッチのリブートを行なうために、**Tools> Reboot System** の順でクリックし、リブートを行います。



13. 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。



14. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
15. 再起動後、Device Information において、Firmware Version が「Build 2.20.B021」であることをご確認ください。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R2.20.B021	<ol style="list-style-type: none"> 1. LBDv4.06 に対応致しました。 2. DHCPサーバがクライアントへIPアドレスを割り当てた際のログメッセージを追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.20.B021	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハングアップすることがある問題を修正致しました。 2. 異なる VLAN 間でのループバック検知が正しく動作しない問題を修正致しました。 3. STP 互換モードに変更した際に STP が正しく動作しない問題を修正致しました。 4. SSH の脆弱性の問題を修正致しました。 5. Fiber ポートの内部設定が Copper モードになっていた問題を修正致しました。 6. スイッチが BOOTP ブロードキャストフラグに正しく応答しない問題を修正致しました。 7. DHCP リレーが正しく動作しない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.20.B021	<ol style="list-style-type: none"> 1. IMPB の ACL が低いプライオリティの場合でも、ユーザ定義の ACL より優先される問題（仕様による）

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.